高校再編に係る再編実施基本計画について

高校再編推進室

１　概要

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で示した再編統合について、統合新校ごとに開催した「新校再編実施計画懇話会」における意見交換を踏まえ具体的な再編・整備を進めるため、統合新校ごとの再編実施基本計画を決定する。

２　今回策定する再編実施基本計画

塩尻志学館高等学校、田川高等学校の再編統合

３　今後のスケジュール

令和８年２月議会定例会において議会の同意を求める事件案を提出予定

（参考）

○高校の将来像を考える地域の協議会からの意見・提案を受ける

→旧第 11 通学区高等学校教育懇話会（令和元年 12 月～令和３年 11 月）

○「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画【三次】」を決定（令和５年１月）

○統合新校ごとに新校再編実施計画懇話会を開催し、「再編実施基本計画」に係る項目についての意見交換をまとめる

→塩尻総合学科新校再編実施計画懇話会 12 回開催（令和５年８月～令和７年 11 月）

《主な意見交換内容（再編実施基本計画に係る項目）》

募集開始年度、活用する校地・校舎、設置課程・学科、募集学級数、新校の学校像等

塩尻総合学科新校（仮称）再編実施基本計画（案）

１　再編統合対象校

塩尻志学館高等学校、田川高等学校

２　募集開始（開校）年度

令和 15 年度

今後両校の学校規模の縮小化が避けられない状況の中、できるだけ早期の統合が必要であることと、施設の整備期間等を考慮し、令和 15 年度を新校の募集開始年度とする。

３　活用する校地・校舎

塩尻志学館高等学校

新校が目指す学びのイメージである「地域を学びのフィールドとして、地域との共創を目指す学校」「多様な経験、学び、人との出会いを通して一人ひとりの可能性を広げられる学校」を実現することがより期待できる環境であるため、塩尻志学館高等学校の校地を活用することが適切であると考えられる。

４　設置課程・学科及び想定する募集学級数

全日制課程　総合学科　６学級程度

※学科の名称は、今後編成する教育課程等に基づき、開校前年度に決定する。

※新校開校時の募集学級数は、毎年度定める「長野県立高等学校生徒募集定員」により開校前年度に決定する。

総合学科のシステムを使いながら、持続可能な社会づくりの担い手を育てていくための多彩な教科・科目を開設する。

募集学級数は、旧第 11 通学区の中学校卒業予定者数の推移や現在の募集学級数から、新校の開校年度には６学級程度が想定される。

５　統合新校の学びのイメージ

別紙のとおり

自らの興味や関心に応じて学びを選択し、地域に開かれた学びの場で様々な課題に挑戦し、自身の未来を切り拓くことができる総合学科高校を構想する。

６　施設整備

新校の学びに必要な施設を整備するとともに、既存施設の著しい老朽化と社会や学びの変化を踏まえ質的向上を図っていく。

・施設整備に要する期間　10 年程度を想定

塩尻総合学科新校　学びのイメージ

学びを選び、塩尻で挑み、未来を拓く総合学科

目指す自分像

○自身の軸を持ち、自ら課題を見つけ、価値を創り出す挑戦ができる自分
○豊かな心を育み、他者を尊重し、互いを高め合いながら協働できる自分
○粘り強く学び続け、自身の道を切り拓き、地元の未来を支える自分

×

目指す学校像

○多様な学びを通じて、自分らしさを伸ばし、心豊かなウェルビーイングを実現する学校
○地域を学びのフィールドとして地域との共学共創を目指す学校
○生徒が主人公となり、社会とともに成長し続ける学校

学　び　の　３　本　柱

① ワクワク！ 多彩な学び

人生を豊かにする学びがここにある

【表現・感性を学ぶ】
≫音楽・美術・書道・演劇などを通した総合芸術、アーティストとの創造活動

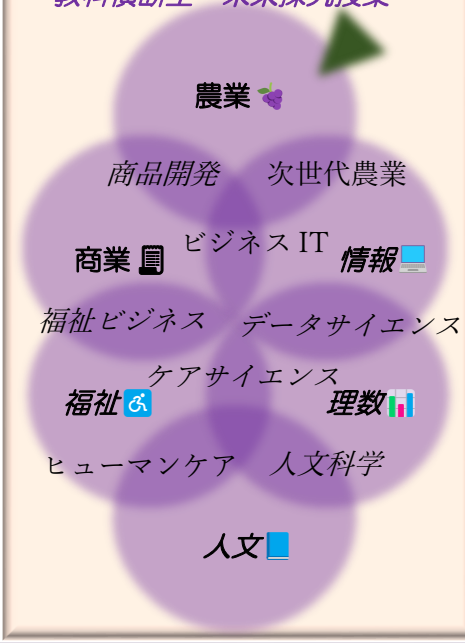
【言語を学ぶ】
≫フランス語、中国語、ハングルなどから始まる国際交流

【ICT 活用を学ぶ】
≫プログラミング、マルチメディア、データサイエンス

【生活を学ぶ】
≫農業、商業、家庭、福祉など人生を豊かにする科目

② ひろがる！ 未来と探究

教科の枠を越えて広がる教科横断型“未来探究授業”



③ つながる！ 地域とキャリア

地域に開かれた学びの場で地域とつながる

【産学官民連携】
≫「シオジリ学」
⇒地域課題解決型学習
「起業家育成プログラム」
⇒地域の未来を担う人材育成、事業創出
「ワインバレー構想」
⇒地場産業との連携

【小中高連携】
≫小中高一貫カリキュラム

【開かれた学び】
≫ブドウ収穫体験、地元の専門家・農家による公開講座、車座の対話

学　び　を　支　え　る　仕　組　み

のびやかに学ぶ環境

❖主体的な学びを促すゆとりある時間割と柔軟なカリキュラムで、多様な学び方を実現。深い学びを通じて確かな学力を育み、大学等進学へとつなげる。
❖地域交流や地域連携に対応できる快適で柔軟な学びの空間を整備する。

クラスを越えて出会える活動の機会、活動の場所がある～生徒が主人公「私は私の人生の当事者」～

❖異学年交流により多様な視点を育み、思いやりや協調性、自ら考え行動する力を育てる。
❖仲間と支え合い、失敗からも学び続けられる温かな雰囲気を醸成する（職員サポーターズシステム）。

地域の方々との共同開発

新校が生涯学習の出発点

地域共学共創コンソーシアム

各種学校　医療・福祉関係　地元企業・商工会　自治体　研究機関